

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 25日

事業所名 わいわいはうす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9		子どもの遊び方によっては、空間が狭くなることがあるため、身体を大きく動かしても良い場所など分かりやすく指定し、安全に過ごせるように環境を整えている。	遊び方や空間の使い方を工夫しながら、活動スペースが十分に確保できるようにします。
	2	職員の配置数は適切であるか	9		余裕を持ったスタッフ数で配置している。	余裕を持ったスタッフ数で安全に支援ができるよう努めます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	2	完全バリアフリーの設備はされていないが、トイレの手すりを設置するなど、できる範囲で行なっている。	今後、必要に応じてバリアフリー化の配慮に努めます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9		朝のミーティングや必要時に会議をするなど適宜行なっている。	スタッフミーティングを細めに行い、職員と共に業務改善に努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9		毎年必ず評価アンケートを実施し、そこで出た意見を確認し、業務改善に努めている。	保護者会や定期的にアンケートを実施し、ご意見やご意向を把握できるよう努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9		会報(おたより)では公開していないが、ホームページで公開している。	ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4	第三者による外部評価は行っていない。	第三者による外部評価は行なっていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		外部研修に積極的に参加するとともに、内部研修も定期的に行ない、資質の向上に努めている。	できる限りで外部研修に積極的に参加し、資質の向上に努めます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9		アセスメントをしっかり行なった上で、子どもと保護者のニーズに合わせた支援計画ができるように努めている。	アセスメントを適切に行ない、個別支援計画を作成できるように努めます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9		使用している。	今後も使用していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9		職員全体で活動について検討したり共有しながら、立案・実施を行なっている。	職員全員でより良い活動になるよう努めます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9		固定化やマンネリ化がないように工夫しながらプログラムの計画を立てている。	楽しめる活動になるよう努めます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	1	個別支援や集団支援など、個々に合わせた課題を設定し、支援している。	個々に応じた課題や取り組みを設定して、支援を行ないます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9		一人一人の状況などを考慮し、無理なく活動できるよう計画を作成している。	個別活動や集団活動などを組み合わせ、状況に合わせた個別支援計画の作成に努めます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	2	個々で確認したことも全体で周知できるように共有を図っている。	職員間の連携を行なうとともに支援内容や方法等、全体での確認・周知に努めます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	2	支援終了後に、支援記録に記載するとともに、気付いた事等を口答で共有している。	報連相をしっかりと行なうことで、職員全体で共有を図り、連携できるように努めます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		支援記録を必ず記載し、支援の検証・改善に努めている。またその日出勤ではない職員は、後日必ず目を通し、全員が周知できるように努めている。	日々の支援について、記録・確認を徹底し、支援の検証・改善に努めます。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9		6ヶ月毎にモニタリングを行ない、保護者のニーズや本人の状況・課題に合わせた計画を作成している。	定期的(6ヶ月毎)にモニタリングを実施し、ニーズや課題等を検討し、目標設定や支援の内容を設定します。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	9		自立支援や創作活動など、一人ひとりに合わせた支援を行っている。	今後もより良い支援が提供出来るように努めます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9		児童発達支援管理責任者及び必要に応じて児童支援員が出席している。	児童発達支援管理責任者及び必要に応じて児童指導員の参画を積極的に行ないます。
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9		全ての学校ではないが、月間予定表及び下校時刻の確認表の交換を行なっている。また、その日の様子や連絡事など、送迎時に共有を行なっている。	学校との情報共有、連絡調整を適切に行ない、連携を図るよう努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在医療的ケアの必要な児童の利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	1	必要時には情報共有を図り、連携に努めている。	今後も必要に応じ、連携を図るよう努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	2	求められた時には、対応します。	必要時には、情報共有を行ないます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9		育成事業等に参加し、助言を求めたり外部研修にも積極的に参加することで、他の専門機関との連携を図っている。	積極的に外部研修や育成事業にも参加し、他の専門機関との連携に努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	8	コロナ禍のため、積極的な交流の自粛を行なった。	交流の機会を検討し、できる限り交流を図るよう努めます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8	1	自立支援協議会主催の研修や交流会に積極的に参加している。	今後も積極的に協議会への参加に努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9		連絡帳及び帰りの送迎時に様子など伝え、共通理解を図っている。	今後も継続します。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	2	家族支援の中で、助言を行なうことはあるが、ペアレント・トレーニングの支援までは行えていない。	対応力の向上を図るため、ペアレント・トレーニングの支援を行えるよう努めます。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9		ご契約時に丁寧な説明を行なうよう努めている。
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9		相談があった際には、適切に対応するとともに必要な助言と支援が行えるよう努めている。	今後も継続していきます。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9		年に1~2回保護者会を開催し、保護者同士の交流と連携ができるよう努めている。	今後も継続していきます。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		重要事項の説明時にきちんと案内するとともに、苦情があった際には迅速に対応するよう努めている。	苦情があった際には、誠実かつ迅速に対応し、改善に努めます。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		保護者向けにおたよりを発行したり、SNSで発信したりしている。	今後も継続します。
35		個人情報に十分注意しているか	9		個人ファイルや電子媒体機器(USB)の持ち出しをしないなど取り決めを行ない、細心の注意を払っている。	今後も個人情報の取り扱いに十分注意を行ないます。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9		伝わりやすい言葉を変えるなど、配慮をしている。	今後も継続します。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	6	コロナ禍のため、積極的な交流の自粛を行なった。	今後、地域住民を招待できる行事を検討します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9		避難訓練や防災訓練等、発生を想定した訓練を1回/月(年12回)実施している。	今後も継続します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9		地域の指定(緊急)避難場所まで避難する訓練や火災・地震時等の訓練を定期的に行なっている。	今後も非常災害時に備え、必要な訓練を実施します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		外部の虐待防止研修に参加し、その研修内容を事業所内で研修したり、事業所内の虐待防止委員会による内部研修も実施している。	今後も研修等を積極的に行ない、虐待に対する予防や適切な対応に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9		現在は、やむを得ず身体拘束を行なうに当てはまる児童が該当しないため、それを行なっていない。事業所内の「身体拘束適正化検討委員会」の設置を行ない、定期的に委員会又は全体会議で検討している。	事業所内の委員会や全体会議等で、慎重に検討を行ない、そのうえで必要と決定された場合には、保護者への説明や支援計画への記載又はその他必要な対応を適切に行ないます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9		重度のアレルギー疾患がある児童は、現在は該当しない。花粉症など軽度なアレルギー疾患がある児童は、保護者に確認を行ないながら適切に対応を行なっている。	今後、医師の指示書などが必要なアレルギー疾患を持つ児童が利用する場合は、指示書に基づき適切な対応を行ないます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9		ヒヤリハットの事例が起きた際には、速やかに「ヒヤリハット報告書」を作成し、事業所内で検討し予防に努めている。	今後も継続します。